

一般会計予算に対する附帯決議

全会一致で可決

平成24年度一般会計予算の原案が本会議において賛成多数で可決後、一般会計予算に対する附帯決議が7名の議員(提出者)原紀夫議員、賛成者木村好孝議員、口田邦男議員、奥秋康子議員、田中勝男議員、中島里司議員、安田薫議員)から提出され、審議の結果、議長を除く12名の本議員が賛成

し、全会一致で可決しました。
この決議は、予算審査特別委員会の質疑をとおりして、事務事業の見直し等、行財政改革がほとんど行われないままに、新たな事務事業が数多く提案されてきたことに危機感を持ったことから、引き続き提案されたものです。決議の内容は、可決し

た予算について、厳しい財政事情を念頭に、行財政運営を行うことなど、予算の一部凍結も含め、再検討するよう求めています。(決議の全文は左のとおり)
特に、開町110年記念事業については、商品開発事業としてペットボトル水道水の製造に200万円、高齢者表彰事業として町

内80年以上在住者への記念品贈呈100万円など、13事業で982万円が計画されており、慎重な取り組みを求めています。(開町110年記念事業予算は下表参照)
附帯決議をうけ、町長からは「現下の厳しい財政状況のなか、予算執行にあたっては町民の期待に応えるように進めていくことを誓う。」との発言がありました。
議会では、町長の所信が、実現に向かつてどの程度進行していくのか、今後確認を行っていく

平成24年度 一般会計予算に対する 附帯決議

平成24年度清水町一般会計予算については、予算審査特別委員会で慎重に審議を行い本会議で可決となったが、その執行にあたっては次の事項について十分注意して取り組まれるよう強く求めるものである。

記

- 1 清水町行財政健全化実行プラン(平成17年度～平成26年度)の計画期間中であり、依然として厳しい財政運営に変わりがないことを、念頭に行財政運営を行うこと。
- 2 開町110年の各種記念事業は、一部事業予算の凍結も含め、再度検討したうえで予算執行にあたること。
- 3 消防庁舎建設事業においては、用地確保の見通し等あらかじめ議会へ説明すること。
- 4 北海道ガーデンショーに関する予算は、最小の経費で最大の効果を発揮するよう努めること。

議会豆知識

長提出議案の内容に十分な部分がある場合、議会は議案を修正すればよいですが、修正するまでもないときは、当該議案を可決したあとに、附帯決議を可決することによりつけることができます。

附帯決議は、当該議案の内容や施行にあたっての議会の要望であり、可決しても長を法的には拘束しません。

しかし、住民の代表である議会の意思であるため、政治的に拘束されます。

長は、附帯決議の内容を検討し、できる限り実現させるように努力をする必要があります。

「附帯決議とは」



開町110年記念事業予算

商品開発事業(ペットボトル水の製造)	2,000,000円
記念表彰(高齢者表彰)	1,008,000円
記念式典	496,000円
まちづくりシンポジウム	500,000円
記念啓発(懸垂幕)	200,000円
記念広告	600,000円
冬季イベント事業	500,000円
健康づくり講演	200,000円
観光シンポジウム	500,000円
観光イベント連携事業	407,000円
食フェスタおいしさ110%事業	100,000円
芸術鑑賞事業(寄席)	2,313,000円
芸術文化事業(第九フェスティバル)	1,000,000円